



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社マツキヨココカラ&amp;カンパニー

上場取引所 東

コード番号 3088 URL http://www.matsukiyocokokara.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 清雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ管理統括財務戦略室長 (氏名) 西田 浩 (TEL) 03-6845-0005

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	507,766	9.2	37,554	32.6	40,068	30.8	25,838	39.6
2023年3月期第2四半期	465,075	67.9	28,322	81.5	30,635	84.8	18,504	81.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 27,959百万円 ( 33.0%) 2023年3月期第2四半期 21,029百万円 ( 131.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	61.79	61.77
2023年3月期第2四半期	43.69	43.68

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	712,916	503,132	70.5	1,203.26
2023年3月期	688,132	482,718	70.1	1,153.58

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 502,778百万円 2023年3月期 482,429百万円

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期及び2024年3月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。年間の配当予想につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割前ベースでの年間配当金は1株あたり101円00銭であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,030,000	8.3	75,500	21.2	80,700	21.0	49,500	22.1	118.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、355円12銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	428,900,130株	2023年3月期	428,900,130株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	11,052,399株	2023年3月期	10,699,053株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	418,168,218株	2023年3月期2Q	423,555,280株

1) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式（2024年3月期2Q 431,934株、2023年3月期431,934株）が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の5ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	14
3. 補足情報	15
売上及び仕入の状況	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 経営成績

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の5類感染症への移行や各種政策の効果もあり、雇用情勢や企業収益が改善する中で、個人消費や設備投資は持ち直しの動きが続いており、景気が緩やかに回復しておりますが、物価上昇や金融資本市場の変動等による下振れリスクにより、先行き不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましても、業種・業態を越えた競合企業の新規出店、商圏拡大に向けた新たなエリアへの侵攻、M&Aによる規模拡大、同質化する異業種との競争、それらが要因となる狭小商圏化など、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループの重点戦略は国内とグローバルに分け設定し、国内戦略として「お客様のライフステージに応じた価値提供」を戦略テーマに3つの重点戦略、①利便性の追求-お客様との繋がりの深化、②独自性の追求-体験やサービス提供の新化、③専門性の追求-トータルケアの進化と、グローバル戦略として「アジア市場での更なるプレゼンス向上」を戦略テーマに④グローバル事業の更なる拡大を重点戦略として設定し取り組んでおります。

P B (プライベートブランド) 商品につきましては、パーソナライズを基軸にした新発想のヘアケアブランド「MQURE (エムキュー)」の販売を開始するとともに、順次新商品の展開を進めております。また、自社オンラインストアの店舗配送サービス「マツキョココカラ Q (キュー)」が本稼働するとともに、2023年6月よりマツモトキヨシグループとココカラファイングループのポイントサービス機能を統合し、1枚のカードで両グループ店舗のポイント付与及び使用が相互で利用できるようにすることによりお客様の利便性の向上を図っております。なお、経営統合によるシナジー実現に向けた取組みにつきましても、引き続き計画通り順調に進捗しております。

2023年9月末現在における当社グループの顧客接点数は、1億4,137万となり、国内店舗数は3,431店舗(うち調剤薬局数951店舗、健康サポート薬局数140店舗)となりました。今後も4つの重点戦略を実行することで収益改善を図ってまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における主な経営成績は次のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	465,075	507,766	42,691	9.2
営業利益	28,322	37,554	9,232	32.6
経常利益	30,635	40,068	9,433	30.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,504	25,838	7,334	39.6

セグメントの業績概況について

<マツモトキヨシグループ事業>

マツモトキヨシグループ事業では、4つの重点戦略に対して、以下の取組みを実行いたしました。

①利便性の追求-お客様との繋がり深化として、社会全体のデジタル化が進み、お客様のライフスタイルが変化しつつある中で、一人ひとりのお客様と深く繋がっていくことでニーズを的確に捉え、最も身近な存在となることが必要と考えております。そのため、デジタルと店舗網を活用したお客様に届ける仕組みづくり、様々な買い物スタイルの提供など、利便性を追求していくことで、お客様により深く寄り添う営業を目指しております。

②独自性の追求-体験やサービス提供の新化として、激しい競争環境の中で、お客様との様々な接点から蓄積されたデータと高いマーケティング分析力を活かし、お客様の価値観に基づいた商品・サービスや店舗モデルの開発、メーカー様向け広告配信事業の展開など、マツモトキヨシグループならではの独自性を追求していくことで、お客様に選ばれる企業を目指しております。

③専門性の追求-トータルケアの進化として、少子高齢化が進み、健康長寿社会の実現を目指すわが国においては、様々なお客様のライフステージに応じた質の高いサービスを提供することで、地域社会により大きな安心と喜びを提供していくことが求められていると考えております。そのため、セルフメディケーションの推進やオンラインを活用した服薬指導・接客などに加え、心と身体の両面でのビューティーケアなど、専門性を追求していくことで、地域包括ケアシステムを支え、すべての人がいつまでも美しく、健康で心豊かな生活を送れるよう取組んでおります。

④グローバル事業の更なる拡大では、アジアを中心とした新たな進出国の開拓や海外店舗展開、越境EC事業の拡大を図るため、海外SNSの活用やグローバル会員獲得によるアプローチ強化、グローバルで活躍する人材の開発、海外で支持される商品の開発などに積極的に取り組むことで、美と健康への意識が高まっているアジア地域での事業規模拡大とプレゼンス向上を目指しております。

P B (プライベートブランド) 商品につきましては、「matsukiyo」から男性向け韓国スタイルのメイクシリーズ「iisam (イイサム)」の展開をスタートしたほか、「matsukiyo LAB」からアスリートライン及びサステナブルロカボライン、「ザ・レチノタイム」「レプリカノーツ」等よりそれぞれ新商品を発売いたしました。

2023年9月末現在におけるマツモトキヨシグループの国内店舗数は1,878店舗(うち調剤薬局数427店舗、健康サポート薬局数37店舗)となり、薬局経営支援サービスである調剤サポートプログラムの加盟店舗数は212店舗まで拡大いたしました。また、海外店舗数は、タイ王国で23店舗、台湾で22店舗、ベトナム社会主義共和国で7店舗、香港で7店舗の合計59店舗となりました。

マツモトキヨシグループでは、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う都市部や繁華街、商業施設内等の人流の拡大や夏の猛暑により、医薬品及び化粧品、新発売やリニューアルしたP B (プライベートブランド) 商品の売上が好調に推移いたしました。なお、インバウンドにつきましては、コロナ禍の中でも免税対応店舗数を戦略的に拡大したことで、回復しつつある需要の獲得に繋がっております。

<ココカラファイングループ事業>

ココカラファイングループ事業では、「利便性の追求-お客様との繋がり深化」「独自性の追求-体験やサービス提供の新化」「専門性の追求-トータルケアの進化」という3つの国内重点戦略に対して、マツモトキヨシグループと同様の取組みを実行いたしました。

ココカラファイングループでは、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う都市部や繁華街、駅前等の人流の拡大や夏の猛暑により、医薬品及び化粧品、新発売やリニューアルしたP B (プライベートブランド) 商品の売上が好調に推移いたしました。また、販促策では、マツモトキヨシグループで培ったK P I (重要業績評価指標) 管理を徹底し、ロイヤルカスタマーの醸成を図ることで、更なる収益性の改善に努めました。なお、2023年9月末現在におけるココカラファイングループの国内店舗数は1,553店舗(うち調剤薬局数524店舗、健康サポート薬局数103店舗)となりました。

## 〔国内店舗の出店・閉店の状況〕

国内店舗の出店・閉店の状況は次の通りであります。

(単位：店舗)

	2023年3月31日 現在の店舗数	出店	閉店	2023年9月30日 現在の店舗数
マツモトキヨシグループ	1,863	36	21	1,878
ココカラファイングループ	1,546	20	13	1,553
合計	3,409	56	34	3,431

## ＜管理サポート事業＞

管理サポート事業では、当社グループ会社を取り扱う商品の仕入や当社グループ会社の経営管理・統轄、その間接業務の受託業務、当社グループ会社からの配当金収入及び、外部への商品供給・施工業務・広告宣伝等を行っており、業務活動の範囲も拡大しております。

これらの結果、セグメントの業績は次のとおりであります。

		前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
マツモトキヨシ グループ事業	売上高	276,276	312,678	36,402	13.2
	セグメント利益	18,801	24,720	5,919	31.5
ココカラファイン グループ事業	売上高	187,510	193,926	6,415	3.4
	セグメント利益	9,311	11,193	1,882	20.2
管理サポート 事業	売上高	280,789	332,714	51,924	18.5
	セグメント利益	4,285	29,916	25,630	598.0
調整額	売上高	△279,500	△331,551	△52,051	—
	セグメント利益	△4,076	△28,276	△24,199	—
合計	売上高	465,075	507,766	42,691	9.2
	セグメント利益	28,322	37,554	9,232	32.6

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて247億84百万円増加して7,129億16百万円となりました。これは主に現金及び預金が86億24百万円、流動資産その他が80億40百万円、商品が27億83百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、43億69百万円増加して2,097億83百万円となりました。これは主に買掛金が71億10百万円、固定負債その他が42億26百万円増加したものの、退職給付に係る負債が55億24百万円、流動負債その他が15億18百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、204億14百万円増加して5,031億32百万円となりました。これは主に、利益剰余金が195億59百万円、その他有価証券評価差額金が20億22百万円増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,038億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して86億24百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、301億60百万円(前年同期は286億50百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益403億23百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、127億55百万円(前年同期は110億24百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出73億57百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、88億7百万円(前年同期は87億24百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額62億83百万円や、自己株式の取得による支出17億45百万円によるものであります。

(資本の財源及び資金の流動性)

当社グループの資本の財源及び資金の流動性については、主に営業活動により得られた資金を新規出店に係る設備投資に充当しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間業績動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表した連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年11月14日)公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	95,224	103,849
売掛金	55,470	56,939
商品	135,937	138,720
貯蔵品	543	608
その他	42,668	50,708
貸倒引当金	△36	△39
流動資産合計	329,808	350,786
固定資産		
有形固定資産		
土地	52,014	51,730
その他	57,656	60,330
有形固定資産合計	109,671	112,061
無形固定資産		
のれん	113,125	109,833
その他	24,829	26,801
無形固定資産合計	137,954	136,634
投資その他の資産		
投資有価証券	27,476	31,027
敷金及び保証金	61,356	61,651
その他	22,003	20,887
貸倒引当金	△140	△132
投資その他の資産合計	110,697	113,433
固定資産合計	358,323	362,129
資産合計	688,132	712,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	102,442	109,552
未払法人税等	14,285	14,156
短期借入金	995	1,025
賞与引当金	6,235	5,577
ポイント引当金	62	73
契約負債	3,424	3,940
資産除去債務	2	7
その他	25,820	24,301
流動負債合計	153,270	158,634
固定負債		
長期借入金	18,400	18,400
債務保証損失引当金	231	229
株式給付引当金	186	258
役員株式給付引当金	39	39
退職給付に係る負債	5,898	374
資産除去債務	11,503	11,735
その他	15,884	20,110
固定負債合計	52,143	51,148
負債合計	205,413	209,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,051	22,051
資本剰余金	205,977	206,103
利益剰余金	262,001	281,560
自己株式	△18,094	△19,418
株主資本合計	471,937	490,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,547	12,570
為替換算調整勘定	△98	△89
退職給付に係る調整累計額	42	—
その他の包括利益累計額合計	10,492	12,480
新株予約権	43	43
非支配株主持分	245	311
純資産合計	482,718	503,132
負債純資産合計	688,132	712,916

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	465,075	507,766
売上原価	305,441	333,940
売上総利益	159,633	173,826
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	4	10
給料及び手当	45,543	46,935
賞与引当金繰入額	6,212	5,399
退職給付費用	1,199	1,185
地代家賃	33,219	35,147
その他	45,132	47,593
販売費及び一般管理費合計	131,311	136,272
営業利益	28,322	37,554
営業外収益		
受取利息	61	67
受取配当金	206	223
固定資産受贈益	268	256
発注処理手数料	1,040	1,069
情報提供料収入	307	293
その他	516	652
営業外収益合計	2,401	2,562
営業外費用		
支払利息	24	29
債務保証損失引当金繰入額	2	—
現金過不足	0	3
その他	60	16
営業外費用合計	88	48
経常利益	30,635	40,068
特別利益		
固定資産売却益	61	43
退職給付制度改定益	—	685
特別利益合計	61	729
特別損失		
固定資産売却損	6	50
固定資産除却損	151	226
投資有価証券売却損	0	38
店舗閉鎖損失	239	113
減損損失	113	17
災害による損失	31	27
特別損失合計	543	474
税金等調整前四半期純利益	30,153	40,323
法人税、住民税及び事業税	8,981	13,363
法人税等調整額	2,543	989
法人税等合計	11,524	14,352
四半期純利益	18,629	25,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,504	25,838

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	18,629	25,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,389	2,022
退職給付に係る調整額	7	△42
為替換算調整勘定	3	8
その他の包括利益合計	2,400	1,988
四半期包括利益	21,029	27,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,905	27,826
非支配株主に係る四半期包括利益	124	132

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	30,153	40,323
減価償却費	6,950	7,089
減損損失	113	17
のれん償却額	3,283	3,292
賞与引当金の増減額(△は減少)	572	△658
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△119	△9
契約負債の増減額(△は減少)	△35	516
ポイント引当金の増減額(△は減少)	42	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35	△5,523
受取利息及び受取配当金	△268	△291
支払利息	24	29
固定資産除却損	151	226
売上債権の増減額(△は増加)	1,600	△1,454
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,469	△2,769
仕入債務の増減額(△は減少)	9,020	7,037
未収入金の増減額(△は増加)	△4,645	△1,193
未払金の増減額(△は減少)	△1,589	△518
長期未払金の増減額(△は減少)	△87	3,563
その他	△932	△2,281
小計	39,801	47,407
利息及び配当金の受取額	208	226
利息の支払額	△24	△28
法人税等の支払額	△16,591	△22,831
法人税等の還付額	5,257	5,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,650	30,160
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,662	△7,357
無形固定資産の取得による支出	△1,500	△3,616
敷金及び保証金の差入による支出	△1,884	△1,610
敷金及び保証金の回収による収入	482	960
投資有価証券の取得による支出	△2	△681
その他	△457	△449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,024	△12,755
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	222	△44
リース債務の返済による支出	△936	△668
自己株式の売却による収入	139	—
自己株式の取得による支出	△3,201	△1,745
配当金の支払額	△4,947	△6,283
非支配株主への配当金の支払額	—	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,724	△8,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,925	8,624
現金及び現金同等物の期首残高	74,519	95,224
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	78	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,523	103,849

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式200,000株の取得を行っております。この取得等により、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が1,324百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が19,418百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	275,947	187,438	1,689	465,075	—	465,075
セグメント間の 内部売上高又は振替高	328	72	279,100	279,500	△279,500	—
計	276,276	187,510	280,789	744,576	△279,500	465,075
セグメント利益	18,801	9,311	4,285	32,398	△4,076	28,322

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,076百万円には、セグメント間取引消去△4,076百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額113百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「マツモトキヨシグループ事業」で97百万円、「ココカラファイングループ事業」で16百万円となっております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	312,358	193,916	1,492	507,766	—	507,766
セグメント間の 内部売上高又は振替高	320	9	331,221	331,551	△331,551	—
計	312,678	193,926	332,714	839,318	△331,551	507,766
セグメント利益	24,720	11,193	29,916	65,830	△28,276	37,554

(注) 1. セグメント利益の調整額△28,276百万円には、セグメント間取引消去△28,276百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額17百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「マツモトキヨシグループ事業」で13百万円、「ココカラファイングループ事業」で4百万円となっております。

## (収益認識関係)

## 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報では、各報告セグメントの売上高を顧客との契約から生じる収益とその他の収益に分解し、さらに顧客との契約から生じる収益を、小売販売に係る売上高とそれ以外の売上高に分解しております。

前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	
小売				
医薬品	82,928	76,317	—	159,245
化粧品	92,352	54,041	—	146,393
日用品	59,267	37,923	—	97,190
食品	26,027	15,393	—	41,421
その他(注)1	14,265	3,494	1,503	19,263
顧客との契約から生じる収益	274,842	187,169	1,503	463,515
その他の収益(注)2	1,105	268	185	1,559
外部顧客への売上高	275,947	187,438	1,689	465,075

(注) 1 卸売事業における売上高、広告宣伝に係る売上高等が含まれます。

2 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入が含まれます。

当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	
小売				
医薬品	95,951	80,580	—	176,532
化粧品	108,175	57,405	—	165,581
日用品(注)1	60,875	36,982	—	97,858
食品	29,349	15,296	—	44,645
その他(注)2	16,961	3,306	1,305	21,572
顧客との契約から生じる収益	311,314	193,571	1,305	506,191
その他の収益(注)3	1,044	344	187	1,575
外部顧客への売上高	312,358	193,916	1,492	507,766

(注) 1 当連結会計期間の期首より、商品別名称を統一することを目的として、従来「雑貨」としておりました名称を「日用品」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、その内容に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結会計期間についても変更後の名称で記載しております。

2 卸売事業における売上高、広告宣伝に係る売上高等が含まれます。

3 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入が含まれます。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

売上及び仕入の状況

## (1) 事業部門別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
マツモトキヨシグループ事業	312,358	113.2%
ココカラファイングループ事業	193,916	103.5%
管理サポート事業	1,492	88.3%
合計	507,766	109.2%

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

## (2) 商品別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
医薬品	176,532	110.9%
化粧品	165,581	113.1%
日用品(注)1	97,858	100.7%
食品	44,645	107.8%
合計	484,618	109.1%

(注)1 当連結会計期間の期首より、商品別名称を統一することを目的として、従来「雑貨」としておりました名称を「日用品」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、その内容に与える影響はありません。

2 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入(テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等)は含まれておりません。

## (3) 商品別仕入状況

当第2四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
医薬品	104,647	109.2%
化粧品	113,951	115.8%
日用品 (注) 1	71,556	107.5%
食品	40,161	113.1%
合計	330,317	111.5%

(注) 1 当連結会計期間の期首より、商品別名称を統一することを目的として、従来「雑貨」としておりました名称を「日用品」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、その内容に与える影響はありません。

2 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。